

免除適応コースにおけるアスレティックトレーナー専門科目理論試験  
結果通知の誤りについて

平成 28 年 12 月 22 日

公益財団法人日本体育協会  
スポーツ指導者育成部

この度、公益財団法人日本体育協会（以下「日本体育協会」という。）では、平成 28 年度公認アスレティックトレーナー専門科目理論試験試験結果通知に誤りがあったことが判明しました。

対象となった受験者及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

<経緯>

- 平成 28 年度アスレティックトレーナー専門科目検定試験理論試験は、平成 28 年 11 月 12 日（土）に実施しました。（概要は下記「試験の概要」参照）
- 平成 28 年 11 月 28 日（月）から 30 日（水）の期間で、日本体育協会担当部署において「採点結果データ」をもとに「合否判定・試験結果通知用データ」を作成し、試験結果を平成 28 年 12 月 2 日（金）付で受験者に通知しました。通知は、大学・専門学校等の適応コース履修者については、日本体育協会から在籍する大学・専門学校等を通じて行いました。
- 平成 28 年 12 月 5 日（月）10 時ごろ、本年度の理論試験受験者が在籍する適応コース承認校から日本体育協会に対し、日本体育協会から受領した理論試験結果一覧表に記載されていた出欠表記について照会があり、日本体育協会担当部署で出欠表記及び試験結果の再確認を行ったところ、17 大学・専門学校に在籍する 242 名について出欠の結果又は試験結果通知に誤りがあったことが判明しました。

<試験の概要>

- 試験名称  
平成 28 年度公認アスレティックトレーナー専門科目検定試験理論試験
- 日時  
平成 28 年 11 月 12 日（土） 9 時 30 分～16 時
- 会場  
全国 6 会場（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡）
- 受験者数…1,551 名（養成講習会：160 名、適応コース：1,391 名）

#### <誤りのあった内容>

○17 大学・専門学校の受験者 242 名の結果のうち、合格者又は不合格者に対して「欠席」と通知したのが 6 名、欠席者に対して「合格」又は「不合格」と通知したのが 6 名、合格者に対して「不合格」として通知したのが 115 名、不合格者に対して「合格」と通知したのが 115 名となりました。

#### <対応>

○平成 28 年 12 月 5 日（月）11 時から 15 時及び翌 12 月 6 日（火）14 時までの間に、日本体育協会担当者から対象となった 17 大学・専門学校の担当者に電話連絡し、事態の説明、既に送付済みの試験結果については、返送等を依頼するとともに、早急に正確な試験結果を送る旨の説明を行った後、平成 28 年 12 月 6 日（火）に正確な試験結果を通知いたしました。

#### <原因>

○日本体育協会では、平成 28 年 11 月 28 日（月）から 30 日（水）の期間で、受験者の「採点結果データ」を「合否判定・試験結果通知用データ」用に作成しました。その作成したデータを取り込む過程における担当者の確認不足により、今回の事態が発生しました。

○受験者の「採点結果データ」から「合否判定・試験結果通知用データ」を作成する作業は、合否判定欄に合格条件、不合格条件、欠席条件のいずれかの関数を入力し、それぞれの条件に合った結果が合否判定欄に入力されているかどうか、また合否判定欄への入力漏れはないかの確認を 2 回実施します。

その段階での作業は、適切に行われ、受験者の合否入力が完了しました。

○その後、試験結果を通知することを目的に、さらに別の作業として、学校別の受験者の結果一覧、理論試験合格証を出力するために受験者管理用ソフトにデータを取り込みます。その際には、受験者管理用ソフトの管理項目と同様の項目数及び並び順に合致した「合否判定・試験結果通知用データ」を作成した上で、学校単位で取り込みますが、この段階で 17 大学・専門学校では、受験者名の並び順と判定結果の並び順に違いが生じていることに気が付かなかったこと、作成した担当者以外の者もデータの並び順の違いに気が付かなかったこと、さらにデータの確認が不十分だったことが原因となります。

#### <再発防止策>

日本体育協会では、誤った事務処理をなくすため、次の再発防止策を講じてまいります。

1. 今後は、受験者の「採点結果データ」と「合否判定・試験結果通知用データ」の互換性を高めることをはじめ、コンピュータによる適切なデータ管理と作業手順を改善するとともに、試験結果判定等のすべてのデータを複数の者がチェックすること、出力した結果につきましても、担当者以外の者がチェックすることなどの正確かつ確実な作

業手順を遂行していく所存です。

2. さらに、本会公認スポーツ指導者の養成担当部署においては、資格取得に必要な試験に係る業務マニュアル等の再確認を行うほか、このような誤りを二度と起こすことのないよう、職員教育を行い、意識向上を徹底し、再発防止及び信頼回復に邁進いたします。

※これまでに行った同試験では、過去に同様の誤りは発生しておりません。

<お問い合わせ>

公益財団法人日本体育協会

スポーツ指導者育成部（担当：江橋、岡）

TEL 03-3481-2226 / FAX 03-3481-2284

<アスレティックトレーナー資格について>

アスレティックトレーナーは、機能解剖や運動学に関する専門的な知識を有し、スポーツ活動現場において、競技者の外傷・障害予防、救急処置、コンディショニングにあたるとともに、スポーツ外傷・障害を受けた競技者の競技復帰までのリハビリテーションにあたることのできる技能を持つ指導者です。

資格取得のためには、定められた講習会（共通科目 152.5 時間、専門科目 600 時間）の受講と検定試験（共通科目は筆記試験、専門科目は理論試験及び実技試験）に合格後に所定の手続きを経る必要があります。

<免除適応コースについて>

大学・短期大学、専門学校、その他スポーツ関連団体が、日本体育協会が免除適応コース毎に定めたカリキュラムと同等の教育課程を設定し、日本体育協会の審査を経て当該コースの承認を受ける。

承認を受けた学校等において当該教育課程を履修した者は、所属学校等を通じ卒業時（修了時）に本会に修了証明書の発行を申請することにより、当該養成講習会受講時に講習・試験の免除を受けることができる仕組み。

※「免除適応コース」とは、申請する個々のコースのことをいう。